

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 6 年 2 月 29 日

1 団体の名前

ふりがな	なんかい さばいばる ぷろじえくと (えぬ えす ぴー) じっこういいんかい
団体の名前	Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会

2 活動のテーマ

まもれ 高知 自らの生命を 守り 我らの 地域を救う

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
4月	4/1 どんご祭り参加
5月	5/14 長宗我部まつり参加 (防災備による防災啓発活動) 自主防災総会参加
7月	避難マップ改訂版・英語版作成
9月	9/20 地域一斉避難訓練 (避難マップ配布・避難場所清掃活動など) 防災アンケート実施
10月	わかみやちまんぐうれいたいさい うてんちゅうし 若宮八幡宮例大祭 (雨天中止)
12月	12/3 高知こども未来ヴィレッジ参加 (防災備や防災関連グッズ販売による防災啓 発活動)
1月	避難マップ英語版設置 (桂浜)
2月	2/18 高知龍馬マラソン応援参加 2/26 防災研修会 参加・避難所マップの配布

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうに良くなったと思うか書いてください。

<感想>

地域の人たちとの交流を通して、顔なじみにもなり災害時に協力できる体制が作れたと思います。特に、地域一斉避難訓練や炊き出し訓練などで防災会の人はもちろんのこと、近所に住んでいるお年寄りとも話す機会がありました。新しく作った避難マップも地域の方々に配布をすることで喜んで貰えました。イベントなどでは防災の大切さを俄に披露するなどし、広げることができました。やっていく中で気づくこともあって、経験したことから自分たちにできることはないのか考えることが楽しかったです。もっとたくさん活動の場を広げていきたいと思っています。

<まちが良くなったと思うこと>

避難マップを作成、配布することで、住民が避難するべき場所を把握できて地震が来た時の不安が少し減ったと思います。今回改めて避難場所をNSPで確認して改訂したので、実際行ってみると避難する場所がなかったという事態を避けることができたと思います。また、英語版の避難マップもマップの範囲内に住んだり、働いたりしている外国人に配布したり、観光地に設置するなどしました。実際、「高知にいる外国人は地震について知らないことばかりなのでとても役に立つ。」「新しく周辺に住み始めた外国人にはぜひ渡して欲しい。」といった声を耳にしました。

5 気づきポイント

活動を通して気づいたことや工夫したこと、反省点などがあれば書いてください。

<活動前にたてた目標や計画通りにできなかったところ>

地域一斉避難訓練は平日であったこともあり、小学生とお年寄り以外の参加者が少なかったのですが、地震はいつ起こるかわからないので、できるだけ多くの住民の皆さんに参加してほしいです。避難マップの配布について、特に英語版については予定ほど配布できませんでした。学校行事と重なるなどして、郊外のイベントへの参加が思ったほどできなかったのも残念です。

<なんでできなかったのか、何につまづいたのか>

平日は働きに出ている人が多く、家から避難訓練に参加することが難しかったようです。また、英語版避難マップは新型コロナウイルスや能登半島地震の影響で高知を訪れる観光客が減って、配布量が少なくなりました。手に取ってくれた外国人からは役に立つので今後も配って欲しいといった声がありました。

<つまづいたとき、活動を進めていくためにどんな工夫をしたか、または、どうすればよかったと思うか>

平日だからこそその開催の意味もあると思うので、平日や土日の開催を順番にするといいと思います。周辺には住んでいないけど長浜周辺に働きに来ている人も参加できるようにしたいです。周辺に住む外国人に避難マップの存在に気づいてもらえるように、広報活動をもっと行いたいです。学校HPに載せています

6 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

能登半島地震が発生し、高知県に住む人たちが南海地震発生時にどのように生き残り、避難所生活を送るのかを今まで以上に考えなければならない状況にあると思います。東日本大震災ではなかった問題が、新しく起きたりしているので、わたしたちも情報を集めて新しい防災の取り組みを考え伝えていかなければいけないと思います。自分たちから行動を起こすことが大切だと思うので、地域行事なども地域の方との関わりだけを目的にするのではなくて、NSPとして防災を呼びかける活動をさらに入れてもらえないか交渉したいです。また、今回うちこどもファンドの活動の中で、たくさんの団体が違った方法で高知を良くしようと頑張っている姿を見て、自分たちの活動にも取り入れたいと思うことや、参考にしたいことがありました。わたしたちと同じで、防災を呼びかけている団体もあったので、そういった団体のみなさんとも一緒になって何か企画をできたらいいなと思います。具体的にはまだ考えられていませんが、一人でも多くの命を救うために、避難や避難後についてだけでなく、生き残るための防災についてにもっと目を向けた取り組みをしたいです。

団体名

Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会

令和5年度決算報告書

収入	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
	ファンド助成金	200,000円	173,869円	
			円	
			円	
	合 計	200,000円	173,869円	

支出	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
	印刷製本代	170,000円	169,869円	・地域防災マップ日本語版1,300部(A2判)・500部(A3判)63,716円【①】 ・地域防災マップ日本語版2,700部(A2判)85,616円【③】 ・地域防災マップ英語語版2,000部(B4判)20,537円【④】
	スタッフTシャツ作成代	15,000円	0円	
	防災活動の日 雑費	3,000円	0円	
	活動保険料	1,000円	0円	
	防災服衣装代	10,000円	0円	
	文房具購入代	1,000円	4,000円	・方眼模造紙1箱(20枚入):1,220円・ホワイトボードマーカー(10本入) 890円×2箱=1,780円【②】 ・マジックラッシュンペン(黒)10本:500円, マジックラッシュンペン(赤)10本:500円【⑤】
		円	円	
		円	円	
	合 計	200,000円	173,869円	